

単元名 暮らしやすさのデザイン(デザインや工芸など)

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追究して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表すことができる。
 (2) 機能と美しさとの調和を基に、使う人や場所、社会との関わりなどから主題を生み出し、人への優しさと形や色彩の美しさなどとの調和を総合的に考え、表現する構想を練ることができる。使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めることができる。
 (3) 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う人の立場や気持ちを考えて構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追究し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

11270303_001

【準備等】画用紙、ワークシート、筆記用具、色鉛筆、絵の具

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 暮らしやすさのデザインについて考え、作品カードにまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで持ち寄った暮らしやすさのデザインについての製品や調べてきたレポートなどを鑑賞し合う。 <p>★暮らしやすさのデザインと何だろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 暮らしやすさを追求した実際の製品や建物や環境におけるデザインの画像や動画などに触れて理解を深める。 身の回りのものを、問題意識をもって見直し、不便さや使いにくさの改善や、使う人や場面などから主題を生み出す。 問題解決のためのアイデアや、暮らしやすさを考えたデザインについて、文字やアイデアスケッチで表現する。 アイデアスケッチの中から表現したいものを選び、マケットとして制作するための計画を立てる。 材料や用具の特性を生かし、制作手順などの見通しをもつて表す。 作品カードに作品についての解説を記入する。 鑑賞会を行い、互いの作品の表現の意図や工夫について発表し合い、よさや美しさを感じ取り味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> 事前に教科書図版の参考作品などで暮らしやすさのデザインに触れ、関連ある製品を準備させたり、身近にあるユニバーサルデザインについて調べたりさせる。 製品や資料の形や色彩、材料の特徴や用途、機能、使い心地などについてワークシートにまとめさせる。 あらかじめ用意していた製品などにも触れさせながら鑑賞させる。 画像や動画を準備し、紹介する。 【評】使う人の立場や気持ちを考えてデザインすることに関心をもち、主体的に創造的な工夫をして表したり、表現の工夫を感じ取ったりする活動を通して、「主体的に取り組む態度」を評価する。 問題意識をもたせることで、生活の中や身の回りのものを新たな視点で見直させる。 使用する人の気持ちや機能、使いやすさ、安全性に配慮しつつ、形や色彩などの効果を生かすよう促す。 使いやすさや効果的な材料、制作の見通しについて考えさせる。 【評】機能と美しさの調和、使う人や場面などを基に、形や色彩の美しさ、人へのやさしさなどの効果を考え構想を練る活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 作品をさらによくするための改善点などを振り返らせながら考えさせる。 【評】形や色彩、材料などに着目し、材料や用具の特性を生かし、制作手順などの見通しをもち、意図に応じて創造的に表す活動を通して、「知識・技能」を評価する。 自分の作品について、機能、使う人、場面、形や色彩、材質の特徴などの視点で確かめさせ、カードに記入させる。 他者の作品のよさや表現の工夫に共感して味わえるよう、肯定的な見方で鑑賞会を行う工夫する。 【評】形と色彩、機能との調和のとれたよさや美しさを感じ取り、誰もが安全で豊かに暮らすためのデザインの働きや、作者の表現の意図と創造的な工夫について考えるなどして見方や感じ方を深める活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】

本単元は、年齢や障がいの有無にかかわらず、だれもが暮らしやすくなるための製品や建物、環境におけるデザインであるユニバーサルデザインについて考えさせる。実際にそうした製品に触れさせことや、生活や社会の中で使われているものの画像や動画を見せるなどして、使う人の気持ちを考えたデザインへの関心や理解を深めさせる。